



協会だより

Japan Tourism Facilities Association

No.97



7月

発行 / 公益社団法人国際観光施設協会

総務委員会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋

2-8-5 多幸ビル九段2階

TEL03-3263-4844

FAX03-3263-4845

E-mail : kankou01@syd.odn.ne.jp

URL : <http://www.kankou-fa.jp>

2014年7月1日

公益事業の拡大と寄付金のお願いについて

副会長 鈴木 裕

昨年、政府目標であった訪日外国人1,000万人が達成され、あらたに2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けて2,000万人の新規目標が掲げられ、その実現を目指して官民一体の活動が開始されました。そうした環境のなか当協会は創立60周年を迎え、活動の対象としての観光施設の概念は点から線、線から面へと拡大し「観光交流空間」へと変化しています。すなわち、協会活動は単体施設だけではなく観光地全体の価値を上げるための多角的な課題への挑戦に発展展開しています。世界経済の成長が減速しつつある中で時代は大きく変遷し持続可能な社会を求めています。協会活動対象も景観保全や生物多様性、観光施設の低炭素化や安心・安全の確保等広範に渡り専門性も増大してきました。

もとより、当協会は観光のハードを担うあらゆる専門家の集団でありますから、そうした問題に対する直接の知見及び、有力なる知的ネットワークには自信があります。60周年事業では、全員集合の号令のもと当協会の創造力・技術力のプレゼンテーションを行い大きな反響を頂きました。しかしながらこのように広範な活動を展開するには、さすがに資金とパワーが十分ではありません。そこで協会ではこうした社会的活動に対する寄付金を募集することに決定しました。持続可能な日本のために、「この国が何をしてくれるかではなく、この国のために我々は何が出来るか」を考えなくてはいけない時代です。広く企業の社会的責任CSRとして、この寄付金にご協力頂くべくお願いをしていく所存です。

平成26年度の通常総会と関連行事 報告

去る6月16日、コートヤード・バイ・マリオット東京ステーション内Studioにて、平成26年度通常総会が開かれました。

総会に先立ち観光庁石原観光産業課長よりご挨拶をいただきました。骨子は以下の通りです。

「昨年訪日外国人旅行者数1,000万人を史上初めて達成。2020年東京オリンピック・パラリンピック大会の開催を追い風として2020年・2,000万人を目標としている。訪日外国人2,000万人はなかなか大きな数字ではあるが、この目標達成のために大切なことが2つあると思う。1.リピーター客を増やす 2.「地方」が鍵である。1.について、訪れた外国人客は日本に良い印象を持って帰ってもらえるが、いかに快適な時間を過ごしていただくか大切であるので、ソフトだけではなくハードについてもこれから新しいものを生み出していく必要があるだろう。2.について、もちろん地方の空港は大切であり、外国人客は地方に関心がある。現在のネットの情報で地方の事を知ることができるので、ますます地方の力が必要になってくる。

以上のことから、これから国際観光施設協会の力が必要になってくると思う。」

総会は立石総務委員長の司会、中山庚一郎会長が議長となり、総会議案については滞りなく承認され、役員1名の退任に伴う役員の一部選任により宮武茂典氏が新理事として選任されました。

- | | | | |
|----|---------------|-------|--------------------------|
| 議案 | ・平成25年度事業報告 | 森 副会長 | 永年功労者表彰3名(敬称略) |
| | ・平成25年度収支決算報告 | 山方副会長 | 委員・幹事永年表彰 寺本昌志、土屋照雄、杉浦 司 |
| | ・平成26年度事業計画 | 鈴木副会長 | 退任役員は1名(敬称略)橋本雅之 |
| | ・平成26年度収支計画 | 山方副会長 | |
| | ・役員の一部選任 | | |

総会后、「森トラストグループのホテル事業展開と今後の開発」について森トラストの伊達専務よりご講演をいただきました。その後館内の見学に引き続き行われた情報交歓会も大盛況でした。(参加者:セミナー179名、情報交歓会168名)

情報交歓会では観光庁ほか観光関係団体より多くの方々のご臨席を賜り、次の方々にご祝辞をいただきました。

観光庁地域振興部長 吉田雅彦氏 日本政府観光局 加藤隆司氏 日本観光振興協会常務理事 野口英明氏

コートヤード・バイ・マリオット 東京ステーション セミナー・見学会 報告

総会に続き、森トラスト・ホテル&リゾート社長の伊達美和子氏による「森トラストグループのホテル事業展開と今後の開発」と題したセミナーが行われました。森ビル、森トラストの会社沿革に始まり、最近では国際ホテルブランドとの提携関係を積極的に進めている状況が紹介されました。国際ホテルブランドとして、マリオット、ヒルトン、スターウッド、シャングリラと言ったビッグネームとの提携関係にあると言います。元々、森トラストは、ラフォーレホテルを展開していましたが、国際ホテルブランドと提携することで、稼働率が上がり、集客数が数倍となり、営業的に成功している例が紹介されました。国際ホテルブランドとの提携関係は、立地や経営状況により、運営委託、或は、賃貸、フランチャイズと様々だが、オーナー会社とホテルブランド会社の双方がハッピーであることが大切と説かれた。

軽井沢万平ホテルを経営し、今年、会場となったコートヤードマリオット東京ステーションを開業させ、来年には、京都の嵐亭(らんてい)を開業させるという。約30ホテル、7,000室のホテル経営者の貴重な話を聴く機会となりました。

伊達美和子氏は、森ビル創業家の一人として、活発にホテル開発を手掛け注目されています。その伊達女史のセミナーとあって、200名近くの出席者を集め盛会となりました。

インテリア分科会 調査会 報告

新しいインテリアに生かしたい伝統技術とデザインを対象に6月26日インテリア分科会調査会を行いました。

茂上工芸(江戸指物):台東区蔵前で100年続いて現在3代目

指物とは諸説あるが棒と棒、板と板などを組み合わせるためにほぞと呼ばれる組み手で指し合わせる。江戸特徴は組み手を外側に見せないで漆で仕上げたシンプルなものが多い。材料はキハダ・クワ・タモ等。江戸指物には梨園指物という歌舞伎役者が使う鏡台や楽屋小物、茶の湯道具や行灯など細かな手仕事の職人技が光る。

田代合金所:台東区寿100年続いて現在3代目

元々は新聞の活字を作っていたが新聞の印刷方法が変わったことから鑄造の良さを生かして、錫を使った鑄物を職人が手作業で1.6ミリの美しいパネル(300×450)にして、建築内装材に生まれ変わった。表面にテクスチュアを付けたりアーティストとのコラボでできたパネルは海外からも注文が多いとのこと、和の金属としてこれから期待されるだろう。

(株)観光企画設計社 空間デザイン賞を受賞

ホスピタリティデザインアワードは、米国「ホスピタリティ・デザイン」誌が主催する賞で、今年で10回目となります。

2012年12月1日から2014年3月1日までにオープンした施設が対象で約400作品の応募の中、観光企画設計社が「シャングリラホテル曲阜」のデザインでラグジュアリー・アップスケール部門の空間デザイン賞を受賞しました。

中国建築様式を取り入れてトップライトを設けた中庭のあるホテルロビーが、新しい中国的空間を演出していることが評価されました。

この授賞式とパーティーは2014年6月3日、ニューヨークのホテル、グランド・ハイアットにおいて盛大に行われました。

P 第103回ゴルフ会結果報告と次回予告 P

春のゴルフ会が5月15日に「グリッサンドゴルフクラブ」にて開催されました。当日は和やかな雰囲気の中、新ペリア方式にて競技が行われました。6組で行われたゴルフ会を制したのはユニオンの土屋氏でした。皆さんのスピーチもまた多くの飛び賞も表彰パーティを盛り上げるのに一役かい、楽しい親睦の場となりました。これからも楽しめる企画を考えていきます。

次回は同ゴルフ場にて11月6日(木)に計画中です。多数の参加をお待ちしております。

事務局から 経理担当事務局員交代のお知らせ

6月16日を持ちまして経理担当の事務局員が交代いたしました。

【前経理担当 石原千穂】経理・総務に携わり、早いもので9年と1ヶ月が経ってしまいました。協会の様々な行事で貴重な体験ができました。また、大勢の専門家の知識で素晴らしいことが出来るのだとたいへん感動しました。長い間大変お世話になりました。ありがとうございます。協会の益々の発展と皆様のご健康、ご繁栄を心からお祈りしています。

【新経理担当 森山啓子】この度、後任として経理・総務を担当することになりました森山啓子と申します。至らぬ点が多々あると思いますが早く前任者に追いつけるよう頑張りたいと思います。特技は少々手話が出来ます。趣味は蕎麦打ち、空手(和道流)、朗読などをやっております。偶然なことに事務局長と共通の知人がいたり、所属する趣味の会のメンバーがいたり協会には御縁のある方々が多く、驚いています。終いの職場として、定年まで頑張る所存でございますのでご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

◎編集後記◎

経理の石原さんが退職され、新たに森山さんが就任されることになりました。

石原さんには長い間大変お世話になりました。特に新公益法人への切り替えに対応していただき、そのための新たな経理処理の基礎を整備していただきました。森山さんに引き継いでいただき、これからも安心して事業を進めて行くことができることに深く感謝したいと思います。

Y・K